



2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」 会長/李 東建(韓国、ソウル)

2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」 ガバナー/牧田 静二(静岡RC)

パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」 会長/高木 一浩

週報

第291回例会 2月7日(土)PM15:00 ~ 18:45 オークラホテル4F平安の間
静岡第7分区インターシティミ - ティング

会長挨拶

開会挨拶 横井守大会実行委員長 = 本日は牧田ガバナーはじめ、ご来賓の皆さまのご臨席を賜り、区内の全員に協力を得て、静岡第7分区のIMが盛大に開催できますことを、ホストクラブ(浜北RC)としまして、このうえない喜びでございます。多数のご支援、誠に有難うございました。(中略)本日のIMが、RI会長の掲げられた崇高な目標と合わせまして、環境問題を一緒に考える、またとない機会とあります様心より記念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

幹事報告

歓迎の挨拶 松井昇浜北RC会長 = 本日は大変多くの皆さまにご参加をいただき、誠に有難うございます。浜北RCの全会員をあげて、心より歓迎申し上げます。本日のIMのテーマは、夢を形に。環境問題を考えるです。今までのIMでも、環境問題は今回か取り上げられた重要なテーマです。(中略)今となつては、地球の環境保全は待ったなしです。綺麗な地球を次世代に引き継ぐのが我々の責任ではないでしょうか。

委員会報告

IMリーダー挨拶 長峰ガバナー補佐 = IMという名前は非常にわかりにくい、いっそのこと、分区大会と呼んだらいかでしょうか? ロータリーには、国際大会があり、地区には地区大会があり、区内のロータリークラブが、年に一度、勢ぞろいするIMは、分区大会と呼んでも良いのではないかと提唱されました。今日は、静岡第7分区、8RC、約500名が一同に会し、まさに、年に一度の8クラブ合同例会であり、有意義なテーマでの講演がなされ、交流の親睦を深める、絶好の機会です。ぜひ、有意義な会にしていきたいと思えます。

牧田ガバナー 第7分区のIMがこのように、盛大に開催されたことを、心から喜んで参加させていただいています。もともと、ロータリークラブは、個々のクラブの、個々の会員の奉仕活動が中心でございますが、やはり、年に一度は、個々の枠をこえて、地域のクラブが一同に会して、ロータリーについて、いろいろ勉強する。または、意見を交換する。これは、とても有意義なことであると考えています。



出席報告

94名中47名50.00%
前々回修正出席率88.30%



国際ロータリー第2620地区・静岡第7分区
パワー浜松ロータリークラブ

コラム

写真で見るIM!





2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」 会長/李 東建(韓国、ソウル)

2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」 ガバナー/牧田 静二(静岡RC)

パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」 会長/高木 一浩

議事 卓話

静岡第7分区インターシティミーティング 講演 / 開発と環境 講師 / 中野良子さん

私は、オイスカインターナショナルというNGO組織で仕事をしていますが、オイスカそのものは、1961年(昭和36年)から、48年目を迎えています。その当時の日本は、(太平洋)戦争に負けて、日本人の底力を出して、一生懸命働いて、日本は経済大国になるという目標を持って、みんな一生懸命・・・目は輝いていました。しかし、わたしの父は、経済発展はとても大切なことだ、だけれども、モノの発展だけで、この世の中の本当の繁栄は難しい、モノの発展と併せて、心の豊かさ、心の繁栄、これを、両輪の輪にしてやっていくことを考えなければ・・・その思いが賛同され、日本だけではありません、アジア、ヨーロッパ、アメリカなど、世界の皆さんが集まってくださって、国際会議が開かれたのが、昭和36年でした。そして、経済界、政府、国会議員など、大変多くの皆さまのご協力を得て、今まで頑張ってきてきました。(中略)

私どもの目指すところは、途上国の農村部、そこは人口の80%くらが住んでいるんです、そういうところに入って、そこに住む皆さん、環境問題を伝えていったわけです。当時から、環境の変化が原因と思われる現象が、途上国の農村部へも広がっていたんですが、その皆さんへ情報を伝え、まず、農業をやるのにも森を守ろうということで、木をうえ植林が始まりました。そして、若い人材を育てる活動をしています。(中略)

今、100年に一度の経済危機だとか、未曾有の経済危機だとか、毎日のように報道されるわけですが、地球規模の環境問題もそうですが、ここだけやれば良い、自分だけが良ければよい、日本だけが良ければ良いでは、通らない時代ですね・・・。私は、人間は一度、原点に立ち返るべきだと思うのです。じゃあ、原点とは何か? 私は、こここである科学者の言葉を引用させていただきますが、遺伝子の研究の権威だそうですが、その方のおっしゃったことに、遺伝子には、利己的な働きを促す情報があって、種の存続と繁栄に繋がっているということなんです。でも、それが繁栄しすぎて、様々な弊害をもたらせばじめると、死滅を促す情報が働きはじめて、ある一定の部分(数)で保たれるということなんです。それを聞いたとき、鳥肌がたったんですけど、これを人間に当てはめると、あまりにも過剰に人間が繁栄し、様々な弊害(環境を汚したり)、エゴと、傲慢でやっていたら、自浄力もなくなって・・・恐ろしい話になっていきますね。そのことを考えると、自分自分自分で、モノだけの繁栄、お金だけの繁栄、自分(人間)だけの繁栄ではなくって、トータルの繁栄、他を思う、全体を思う、そういう発想になっていくわけです。そうなりますと、他とはなんだろう、全体とはなんだろう・・・親がいる、家族がいる、友人がいる、日本という国の人がある、それぞれの国で世界の人がある、人間だけではなくて、動物などの生命がある、そして、そういうものを生んでくれるのは、山、森があり、海があり、川がり、全体として地球があり、また地球が生まれた宇宙があり、そこまで考えて、人間は人の子であると同時に、地球の子どもであり、宇宙の子どもであるという意識が必要だと思うんです。そこが原点に繋がっていくのではないのでしょうか。

一部抜粋および要約

